



人と環境に優しい中央区を目指して

2021.1月 第21号

新しい年の始まりを皆様いかがお過ごしでしょうか？
with コロナの時代でも森を守る大切さは変わりません。
本年も、対策を万全にしながら活動を続けてまいります。
どうぞご支援・ご協力のほど、宜しくお願いいたします

ご報告 「中央区の森 間伐体験ツアー」を実施しました

◇日 時：令和2年 11月 19日（木） 9:00～18:00

秋晴れの下、14名が参加してコロナ感染防止や事故防止などに気を付けながら間伐体験ツアーを行いました。

皆様にご協力いただき、お陰様で安全に終わることができました。改めてお礼申し上げます。

集合時には検温を行い、手指の消毒をしてからバスに乗車。

発車前の車内で、バス会社から感染防止対策について説明を受けました。

事務局からは、マスクの常時着用や、バスに乗り込む際はその都度手指を消毒すること、車内での会話や飲食は極力避けることなどをお願いしました。

通常は、親睦を図るための初めの一歩として自己紹介をしていただきますが、今回は司会者からの紹介にとどめました。

檜原村役場で檜のトイレを見学。間伐材がこのような利用できることを説明しました。

中央区の森に到着し、いよいよツアーの目的である間伐作業。里山再生塾のご挨拶と注意事項を聞いた後、4班に分かれ、1班に一人指導員がついて作業をしました。

チェーンソーは免許が無いと使えないため鋸で切りました。三角の切込みを作ったらロープをかけて倒し、一定の長さで切るところまでが一つの作業。細い木を選んでいるはずなのですが結構な体力を使い、1班2本を切り終える頃にはへとへと。

作業終了後は、焚火を囲みながら猪鍋を堪能しました。

帰路はお買い物ツアーに変身！

井上食品ではバツタ練りという伝統手法で作るこんにゃくを、村の観光協会直営売店「やまぶきや」では地場産の野菜を購入。きのこセンターのマイタケはとても美味でした。

払沢の滝駐車場からは、滝を見に行く班と豆腐店の「ちとせや」で買い物を楽しむ班に分かれました。

持ち帰った檜は、クリスマスツリーや、正月飾りとして利用しました。

今年もコロナの状況次第ですが、春に下草刈り体験、秋に間伐体験のツアーを企画できればと思っています。また、間伐した材を区内で飾る方法も検討する予定です。



聖山再生塾のご挨拶と説明



鋸で切るのはなかなか大変です



焚火を囲みながら猪鍋を堪能しました。



ご参加いただきありがとうございました



持ち帰った檜はクリスマスツリーに



中央区の森の檜でお正月飾り

●編集後記●

氏神様の近くに、「コロナウィルス退散祈願」という幟を見つけました。年賀状にも「コロナに負けず頑張りましょう」という添え書きが多かったように思います。

一日も早い収束を願うばかりです。